

News Letter

水稲（伯耆町）

2022年

10月

中国四国農政局
鳥取県拠点

鳥取のおいしい梨、どれ食べる？

鳥取県の梨と言えば、真っ先に二十世紀梨を思い浮かべる方は多いと思います。

二十世紀梨は明治時代に千葉県から導入されました。当初は病気に弱く、収穫までに多くの苦労があったと聞きます。しかし、生産者、鳥取県及び鳥取大学等が一体となって防除に取り組んだ結果、日本一の二十世紀梨生産県となったのです。

現在では、二十世紀梨だけではなく、様々な品種の梨が収穫されるようになりました。青梨、赤梨、早生に晩生とバラエティーに富んでいます。

近年では、鳥取県オリジナル品種も多く生産・出荷されています。新品種も市場で好評価を得ており、小売店でもよく見かけるようになりました。

新甘泉
（赤なし）



二十世紀
（青なし）



なつひめ
（青なし）



秋栄
（赤なし）



「写真提供：鳥取県」

ここにあげている梨は、鳥取県で生産される梨のほんの一部です。鳥取県の梨を代表する「二十世紀」をはじめ、今後、鳥取県の顔となるべく日々努力を重ねる「新甘泉」、「なつひめ」、「秋栄」と、多種多様となってきており、8月から12月まで鳥取県産の梨を楽しむことができます。

皆さんはどの梨を食べますか？

詳しくは、こちらをご覧ください。
（食のみやこ鳥取県ホームページ 梨）

<https://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=178199>

トピックス

JICA主催の農業統計研修が鳥取県拠点で開催されました

令和4年9月7日～9日にかけて、JICA※が主催する農業統計分野の研修が鳥取県拠点で開催されました。

これは、1967年から開発途上国の農業統計担当者を日本に招へいし、開発途上国の発展に必要な農業統計の企画・立案に係る研修を農林水産省が協力して実施しているものです。

これまでに600名以上が研修に参加し、各国の農業統計の改善に大きく貢献しています。

研修生は6カ国（フィジー、ケニア、リベリア、ナイジェリア、東ティモール、ベトナム）から10名が参加しました。

研修では、鳥取県の農業概要の説明から始まり、統計調査のうち調査員の業務内容及び面接調査を行う上での調査技術の講義や研修生が農家役の職員を相手に農家に対する聞き取り調査を行う模擬調査を行いました。

模擬調査では正確な調査を行うために、農家



役の職員が研修生の問いに対して、つじつまの合わない数値を答えることで、研修生が正しい答えを導けるかといった内容で行いましたが、研修生はみごとにクリアしていました。

また、現地研修として、水稻の作況調査に関連した米の調整施設見学とデモンストレーション、水稻調査ほ場の見学、梨の選果場や直売所の見学等を行いました。

2泊3日の研修でしたが、鳥取で研修した内容が少しでも自国での農林水産統計に役立つことを願っています。

※JICA/ジャイカは独立行政法人国際協力機構
Japan International Cooperation Agency
の略称です。

JICA（ジャイカ）は、日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関として、開発途上国への国際協力を行っています。



インフォメーション

中国四国「スマート農林水産統計」に農林業センサス編を追加しました。

農林水産省中国四国農政局は、農林水産統計データの携行利用に便利なツールとして既に公開済みの「中国四国『スマート農林水産統計』(Ver 2.2)」に加え、農業や林業を行う経営体や従事者の現状等を明らかにした「2020年農林業センサス」のデータを収録した「中国四国『スマート農林水産統計』農林業センサス編(Ver 1.0)」を中国四国農政局ホームページに公開しました。

農林業センサス編 (Ver 1.0)

以下のURLリンク及び右の二次元バーコードからもダウンロード出来ます

<https://www.maff.go.jp/chushi/info/attach/pdf/smart-ce.pdf>



◎「News Letter」は、原則奇数月に発行しています。

編集:中国四国農政局 鳥取県拠点

〒680-0845 鳥取県鳥取市富安2丁目89番地4 鳥取第1地方合同庁舎

TEL (0857)22-3131(内線662) FAX(0857)27-9672 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>